

横浜市民ギャラリー

コレクションを中心とする企画展示

section-1 横浜市民ギャラリー収蔵の版画 —現代版画の多様な表現

section-2 テーマ展示「横浜の美術振興と洋画家たち (大正~戦後復興期まで) —収蔵作品を中心に」

1999年10月23日(土)-11月3日(水・祝) 10:00-18:00 10月31日(日) 休館  横浜市民ギャラリー

会場：横浜市民ギャラリー 3階展示室 (横浜市教育文化センター内/JR関内駅南口下車。改札を出て右側正面) 入場無料 主催：横浜市民ギャラリー・横浜市



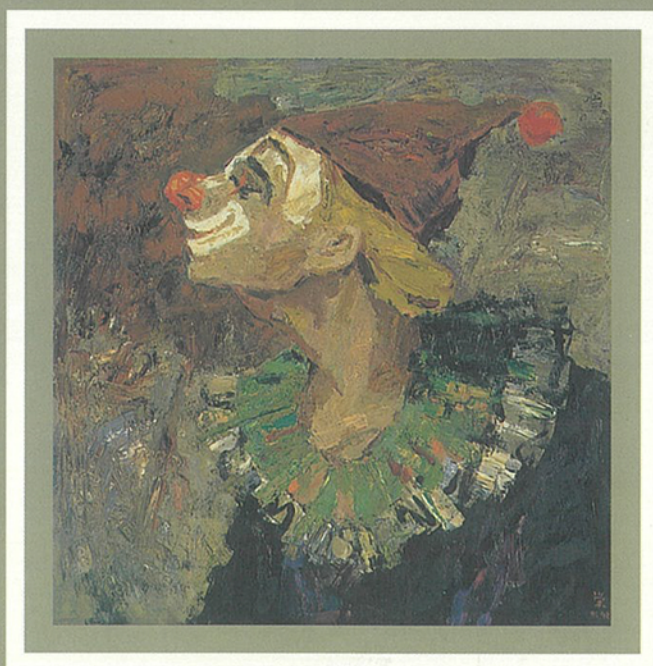
藤田修《Meeting》1991 フォトエッチング、エッチング

section-1

横浜市民ギャラリー
収蔵の版画
—現代版画の多様な表現

section-2

テーマ展示
「横浜の美術振興と洋画家たち
(大正~戦後復興期まで)
—収蔵作品を中心に」



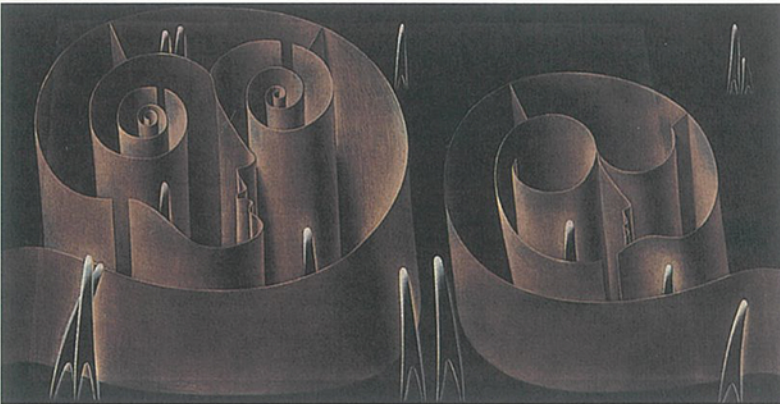
川口栄《瘦れ》1973 キャンバス 油彩

横浜市民ギャラリーでは、横浜ゆかりの作家たちの作品や、ギャラリーが30余年にわたって開催してきた「今日の作家展」に出品した現代美術家の作品などを1000点以上収蔵していますが、常設展示室を持たないため、皆様にご覧いただく機会が巡回ギャラリーなどに限られてきました。そこでこのたび、展示スペースの一部を使用し、収蔵品を中心とする小企画展を開催いたします。

第1セッションでは、当ギャラリーが収蔵する版画の中から約50点を選び、現代版画の多様な表現を紹介いたします。第2セッションでは、小テーマ展示として、横浜美術館からの借用作品や横浜市からの寄託作品を合わせて会場を構成し、大正期から戦後復興期にかけて横浜の美術振興に貢献・尽力した洋画家たちの作品約40点を展観します（川村信雄、志村計介、中村好宏、岩田栄之助ほか）。市民ギャラリーのコレクションの性格上、展示される作品は必ずしもこの時期のものばかりではなく、画家たちが後に円熟期を迎えた1960～80年代のものが多くなりますが、会場では解説パネル等により、画家たちの当時の活動を振り返ります。横浜の現代洋画壇の胎動期に青春を過ごし、激動の時代の中で、仲間の自宅アトリエに集まっては新しい技法や主題の探究に共に明け暮れた画家たちの、当時の息吹を感じとっていただければ幸いです。

section-1

横浜市民ギャラリー収蔵の版画 —現代版画の多様な表現



深沢幸雄《顔は迷路》1988 アクアチント、メゾチント



一原有徳《EEO》1980-92 アルミニウム、NaOH腐食

section-2

テーマ展示「横浜の美術振興と洋画家たち（大正～戦後復興期まで）—収蔵作品を中心に」



兵藤和男《古樹新緑》1965 キャンバス、油彩



志村計介《紀州湖の岬》1959 キャンバス、油彩



川村信雄《菊》1962 キャンバス、油彩

■横浜市民ギャラリーでは、戦前・戦後直後の横浜美術（協会）展の出品目録や新聞美術記事など、大正・昭和初期の横浜の美術に関する文献資料の収集に努めています。作家や市民の皆様からの資料・情報の提供をお待ちしています。ご連絡はギャラリー学芸員まで。

- 同時開催
- ▶赤堀郁彦 漆・時空の世界（1・2階展示室）
- ▶横浜国際写真フェスティバル
- 明滅するイメージ COMMUTATION展（3階展示室）

横浜市民ギャラリー コレクションを中心とする企画展示

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY COLLECTION

1999年
10月23日(土) - 11月3日(水・祝)
10:00 - 18:00 10/31(日)休館

主催：横浜市民ギャラリー・横浜市
〒231-0031 横浜市中区万代町1-1
(横浜市教育文化センター内)

電話 045-224-7920
ファックス 045-224-7928
ホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/ycag>

